

平成29年度事業計画

I 事業方針

当センターは、設立以来、地域社会において実践活動を行いセンターのサポーターである賛助会員を有する、全国唯一の「明るい長寿社会づくり推進機構」として、県内高齢者の生きがいと健康づくり、社会参加を推進し、健康長寿県づくりの一翼を担ってきました。

人生100年時代を迎えた現在、シニア世代の生き方や価値観は多様化しており、急激な超高齢社会の進行、人口減少化の中で、地域社会では高齢者自らが地域の一員としての役割を担い、共に活動することが期待されるなど、高齢者を取り巻く環境や社会的ニーズが設立当時と大きく変わってきています。

そこで、シニア世代が培ってきた知識や経験を活かし、就業や社会参加活動をすることができる「人生二毛作・生涯現役」社会の実現を目指し、シニア活動推進コーディネーターを配置するなど、シニア世代の活躍の場づくりを積極的に進めています。

平成29年度事業計画、予算の策定に当たっては、県が掲げる「人生二毛作」社会づくりの理念と協調した事業の展開を図るとともに、次の事項に意を用い、的確かつ迅速な執行に努めます。

□ 「人生100年時代」を見据えた県民の意識づくりを進めます

情報誌、実践事例集及びホームページを活用した情報発信、タウンミーティングの開催等により、シニア世代が社会参加活動を行うことができる人生二毛作社会づくりを推進し、県民の意識づくりを進めます。

□ 高齢者の活動の場づくりを促進する仕組みを構築し、「居場所と出番がある長寿社会」の実現を目指します

シニア活動推進コーディネーターを引き続き6人配置し、関係団体との連携強化により、全ての高齢者に「居場所」と「出番」がある長寿社会づくりを進めます。

□ 高齢者の社会参加意欲の醸成と社会参加活動への支援を行います

シニア大学は、社会参加活動につながる人材養成の場であることを明確にした運営を行うとともに、各学部のカリキュラム充実に向け、「講座概要」を策定します。

また、シニア大学長野学部専門コースをモデルとして設置し、様々な地域課題に向き合い解決する“発想する力、合意形成力”などのスキルを持ったプロデューサー的な人材（仕掛人）を養成します。

さらに、「いきいき中高年社会貢献活動支援事業」により、中高年者が経験や知識を生かして地域社会に貢献しようとする活動を積極的に支援します。

□ 高齢者の仲間づくり及び健康で活躍できる社会づくりを進めます

信州ねりんピックの開催をはじめとし、県民参加の場を提供することにより、高齢者の生きがいや仲間づくり、健康で活躍できる社会づくりを推進します。

□ 地区賛助会への協力・支援を行うとともに、賛助会員の加入促進と活動支援を進めます

賛助会員グループ立上げ給付金事業を設立するとともに、地区賛助会への助言、交付金による運営の支援や賛助会員グループへの活動費助成などにより、会員の活動支援を行います。

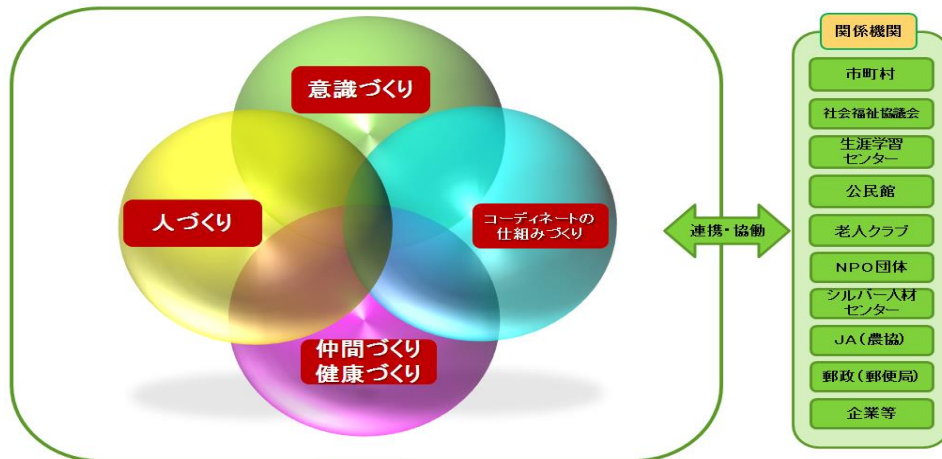
また、シニア大学学生へのPR等により賛助会員の加入促進に努めます。

□ 財団運営の一層の健全化に努めます

基本財産運用収入や賛助会費、広告料収入等自主財源の確保に努めるとともに、既存事業内容の点検、効果的で迅速な事業執行により、財団運営の一層の健全化を目指します。

Ⅱ 事業体系

(公) : 公益目的事業
(共) : 共益事業



誰もがその人らしく生き抜く長寿社会の実現

意識づくり

- 情報提供事業
 - ・ (公) 情報誌発行事業
 - ・ (公) 広報事業
- 啓発普及事業
 - ・ (共) 広報啓発事業
 - ・ (共) ホームページ運営事業
 - ・ (共) 表彰事業
- 活動推進事業
 - ・ (公) センター支部活動事業
 - ・ (公) いきいき中高年社会貢献活動支援事業
 - ・ (公) 高齢者地域活動会議運営事業

人づくり

- 人材育成事業
 - ・ (公) 長野県シニア大学運営事業

仲間づくり・健康づくり

- 推進事業
 - ・ (公) 信州ねんりんピック開催事業
 - ・ (公) 全国健康福祉祭選手派遣事業
- 活動推進事業
 - ・ (共) 賛助会員募集・活動推進事業
 - ・ (共) 地区賛助会運営費交付事業
 - ・ (共) 地区賛助会連絡協議会運営事業
 - ・ (共) 賛助会員グループ活動支援事業
 - ・ (共) 賛助会員グループ立上げ給付金事業

コーディネートの仕組みづくり

- 活動推進事業
 - ・ (公) 高齢者社会参加促進事業

Ⅲ 実施事業

1 意識づくり

(1) 情報提供事業

① 情報誌発行事業（予算額 6,666千円）

情報誌「信州りらく」を人生二毛作社会に向けた意識啓発に重点を置いて発行することとし、地域で積極的な社会活動を行っている人物、グループの紹介等を情報発信し、生きがい・健康づくりや社会参加に対する意識の高揚を図ります。

また、「情報誌企画・編集委員会」の開催等により、魅力ある情報誌の発行に努めるとともに、有償購読者の増加を図ります。

- ▶ 発行回数 年4回（4月、7月、10月、1月）
- ▶ 発行部数 5,200部
- ▶ 配布先 市町村、図書館、公民館、公的病院、賛助会員等
- ▶ 支部通信員の設置（30人）

地域で活躍する高齢者の情報を収集するため、支部通信員（活動サポーター）を設置し、地域の声を反映させます。

② 広報事業（予算額 200千円）

報道機関等への情報提供を積極的に行うとともに、ホームページにおいて、センター支部、シニア大学の活動紹介を充実させる等、社会参加活動に係る情報発信に努めます。

(2) 啓発普及事業

① 広報啓発事業（予算額 173千円）

賛助会員加入案内パンフレットを作成し、県民やシニア大学生等への働きかけにより、賛助会員の加入促進を図ります。

② ホームページ運営事業（予算額 50千円）

ホームページに各種イベント案内、事業等の募集案内や地区賛助会会報等を掲載することに加え、「人生二毛作社会」の推進に有効な取組等が、多くの方に届くよう情報提供に努め、豊かで活力ある長寿社会づくりの大切さを呼び掛けます。

③ 表彰事業（予算額 100千円）

活動振興において功績のあった個人及び団体に対し、表彰状又は感謝状を贈呈し

功績をたたえ、センターが推進する生きがいと健康づくり活動、社会参加活動等の賛助会員活動を推進します。

(3) 活動推進事業

① センター支部活動事業（予算額 1,650千円）

明るく豊かな長寿社会づくりを推進することを目的として、センター支部の自主的な活動を促進するため、次のとおり実施します。

ア 一般事業

管内の高齢者を対象に生きがい・健康づくりや社会参加につながる事業を実施します。

- ▶ 限度額 1事業あたりセンター負担5万円（開催地の支部を除く。）

イ 信州ねんりんピック文化・芸術交流大会参加促進事業

「人生二毛作・生涯現役社会づくり」への理解を促進するために、シニアの信州ねんりんピック文化・芸術交流大会への参加を促すことを目的に実施します。

- ▶ 限度額 1支部あたりセンター負担5万円

ウ 人生二毛作社会推進事業

市町村、社会福祉協議会等関係団体との連携・協働により、高齢者の社会参加に対する意識の向上を図るために、タウンミーティング（県民大会）等を開催します。

- ▶ 配当額 1支部あたり7万円程度

② **社**いきいき中高年社会貢献活動支援事業（予算額 1,925千円）

中高年者が経験や知識を生かして地域づくり、社会参加活動をしようとする事業に対し助成し、中高年者の居場所と出番がある長寿社会の形成を促進します。

- ▶ 助成額 助成対象事業費の2/3以内で、1年目は15万円、2年目は10万円、3年目は5万円を限度とします。

③ 高齢者地域活動会議運営事業（予算額 300千円）

センター各支部の主催により、圏域ごとに市町村、市町村社会福祉協議会、ハローワーク、シルバー人材センター等との関係機関が参加し、「ネットワーク会議」の開催を通じ、人生二毛作社会の実現を目指します。

2 人づくり

人材育成事業

④長野県シニア大学運営事業（予算額 23,544千円）

(1) 一般コース

シニア世代の多様な生き方、価値観、地域性を大事にしながら、自ら地域の課題に気づき、学習を通して社会参加活動のきっかけをつかみ、卒業後、地域社会の一員としての自覚をもって地域とかがわる人材を育みます。

- ▶ 定員 2,400人（1学年1,200人、2学年1,200人）
- ▶ 学習期間及び時間数 2年 年60時間（4時間×15日）
- ▶ 授業料 1人年額10,000円
- ▶ 入学資格 概ね60歳以上の県内在住者で、学習意欲が旺盛であり、地域活動等を行おうとする者。

(2) ⑤専門コース（地域プロデュース専門コース）

様々な地域課題に向き合って解決する“発想する力、連携・協働する力、合意形成力、コーディネート力”などのスキルを持ったプロデューサー的な人材（仕掛人）を養成するため、新たに専門コース（地域プロデュース専門コース）をモデルとして長野学部に開設します。

- ▶ 定員 30人
- ▶ 学習期間及び時間数 1年間 年35時間
- ▶ 授業料 1人年間 26,000円
- ▶ 入学資格 概ね50歳以上の県内在住者で、地域課題を的確に捉え、それを解決する専門的なスキルを身に付けようとする者。

(3) シニア大学運営委員会

一般コースと専門コースのカリキュラム充実のため、目指す姿や学習のねらい等を明らかにする「講座概要」を策定します。

また、新たに開設する専門コースの事業効果、改善点等を検証し、本格的な開設に向けた検討を行います。

(4) 社会活動推進員研修

カリキュラムの編成を担う社会活動推進員の講座運営能力向上のための諸研修を実施し、講座の充実を図ります。

(5) 学校案内の作成

シニア大学を広くPRし、定員の確保を図るため学校案内を作成、配布します。

3 仲間づくり・健康づくり

(1) 推進事業

① 信州ねんりんピック開催事業（予算額 5,190千円）

長寿社会に対する理解を深め、高齢者の生きがい・健康づくりや社会参加を推進する契機とするため、高齢者を中心とする多くの県民が参加する文化・芸術・スポーツの祭典を開催します。

ア 文化・芸術交流大会

(7) 式典、交流イベント、ステージ発表等

- ▶ 開催期日 平成29年12月2日（土）
- ▶ 会場 駒ヶ根市文化会館

(イ) 囲碁・将棋大会

- ▶ 開催期日 平成29年12月2日（土）
- ▶ 会場 駒ヶ根総合文化センター

(ウ) 高齢者作品展

- ▶ 開催期日 平成29年12月1日（金）～12月3日（日）
- ▶ 会場 駒ヶ根総合文化センター
- ▶ 内容 日本画、洋画、彫刻、手工芸、書、写真の作品展示

イ スポーツ交流大会

- ▶ 開催期日 平成29年9月30日（土）
- ▶ 会場 茅野市運動公園
- ▶ 内容 ダンススポーツ、グラウンド・ゴルフ等 10種目

② 全国健康福祉祭選手派遣事業（予算額 5,408千円）

高齢者の生きがいと健康づくりを目指す、第30回全国健康福祉祭あきた大会「ねんりんピック秋田2017」へ選手を派遣します。

- ▶ 開催期日 平成29年9月9日（土）～12日（火）
- ▶ 開催場所 秋田県
- ▶ 選手団派遣予定種目数・人員 18種目・約160人

(2) 活動推進事業

① 賛助会員募集・活動推進事業（予算額 1,445千円）

賛助会員の加入促進キャンペーンとして、昨年度に引き続き、入会金を免除し、賛助会員の増加に向けた取組を進めます。

また、「活動サポーター」と連携し、賛助会員活動の啓発や加入促進を積極的に進めるとともに、サポーターの資質向上及び情報交換のための研修会を開催します。

ア 会員の加入促進

- ▶ 地区賛助会と連携して賛助会員の加入促進に取り組みます。
- ▶ 会員特典（情報誌「信州りらく」の配布、割引協力店での割引サービスの利用、グループ立上げ資金の給付、グループ活動経費に対する助成、法人会員のセンターホームページ広告料の割引及び情報誌「信州りらく」・ホームページでの紹介）を実施します。

イ 活動サポーター研修

委嘱した活動サポーターの資質向上、地域活動推進、会員募集の強化等を推進するために研修会を実施します。

ウ 割引協力店の充実

賛助会員が利用できる割引協力店の拡大を図ります。

② 地区賛助会運営費交付事業（予算額 1,927千円）

地区賛助会の活動運営を行うために必要な経費を交付し、自主的な活動を推進します。

③ 地区賛助会連絡協議会運営事業（予算額 186千円）

賛助会員代表（20人）と支部事務局長（10人）により構成される連絡協議会で社会参加活動の推進策等について協議・意見交換を行うとともに、地区賛助会活動の連絡調整を図ります。

④ 賛助会員グループ活動支援事業（予算額 2,616千円）

賛助会員グループの活動を積極的に推進するため、活動経費の一部をグループに助成します。

▶ 助成額

ア 賛助会員A会員数1人当たり1,000円（1会員1グループに限る）

イ 社会貢献活動加算：賛助会員A会員数1人当たり300円

社会貢献活動を年間5回以上行うグループ

⑤ **新** 賛助会員グループ立上げ給付金事業（予算額 180千円）

グループ長の協力を得て、賛助会員グループの年会費の一括納入を進めることにより、賛助会員が新規のグループを設立する際に給付金を給付し、高齢者の自主的な社会参加活動を推進します。

▶ 助成額 1グループにつき1万円

4 コーディネートの仕組みづくり

活動推進事業

高齢者社会参加促進事業（予算額 25,636千円）

高齢者の社会参加のニーズと地域社会の高齢者に対するニーズに関する情報を一元的に提供する「シニア活動推進コーディネーター」を引き続き6人配置するとともに、ネットワーク会議等の開催により、市町村、市町村社会福祉協議会、シルバー人材センター等の関係団体と連携体制（プラットフォーム）を構築し、情報共有を図ることを通じて、高齢者と地域社会のニーズのマッチングを行い、全ての高齢者の社会参加を支援します。

5 財団運営

理事会、評議員会、地区賛助会連絡協議会など、財団運営に必要な会議を開催し、適正な財団運営を行います。

- | | |
|------------------|--------|
| ▶ 理事会 | 5月、3月 |
| ▶ 評議員会 | 6月、3月 |
| ▶ 地区賛助会連絡協議会 | 6月、12月 |
| ▶ 支部事務局次長、推進員等会議 | 4月、12月 |